

スマホ・タブレットをもたせるときの親の心得

生活習慣の確立、発達段階にあった自立ができてきているかもポイントです。



ルールづくりの参考に

安心ネットづくり促進協議会 

Mextchannel (文部科学省 You Tube) 

子ども専用のスマホ・タブレットは、今、本当に必要でしょうか？

子どもが専用のスマホ・タブレットをもちたいと言ったら…


納得がいく理由であれば与える

○ただし、必ず下記の1～5の対策をとる。
○また、約束を守れなかった場合のペナルティ（一時預かりや、解約するなど）を与える話もする。

話し合い

*** 話し合う視点 ***

- ★ どうして必要なのか
- ★ 何がしたいのか (メール、ゲーム、ネットなど)



今はもたせない

やりたい事が、パソコン、ゲーム等のメディア通信機器でできることであったり、親のスマホや共用タブレット等を一時的に借りればできることであったりする場合は、もたせることを見合わせる。
また、対策1～5に子どもが同意しない場合も、もたせることを見合わせる。

守れない

もち始めが肝心！子どもを守る5つの対策

もし持たせるなら 対策1 使い方のルールを決めておく

親がスマホを管理し、もたせる前にあらかじめルールを決めておきます。使い方、使用時間、利用料金の範囲のほか、使用するべきではない「時間帯」、「場所」を決めておくことも大切です。
決めたルールが守れなかった時には、スマホを解約することも決めておきます。



もし持たせるなら 対策3 スマホの機能は必要最低限とし、フィルタリングサービスなどを必ず利用する

スマホの機種、機能をよく選んでもたせ、アプリの使用制限、フィルタリングサービスなども必ずつけます。

もし持たせるなら 対策4 利用の仕方を子どもに定期的に確認する

どのような使い方をしているのか、SNSやネットの利用はどのくらいなのかを定期的に確認します。また、携帯会社から履歴リストを取り寄せるのもよいでしょう。




もし持たせるなら 対策2 スマホで何ができるのか 親自身も理解しておく


もたせた機種で何ができるのかを把握しておきます。時間制限のできる機種、機能も利用します。


もし持たせるなら 対策5 依存症にならないように注意する

SNSのやりとりが目立つ時、肌身離さずいつも持っている時、お風呂やトイレまで持ち込んでいる時、深夜遅くまで使っているような時には、子どもと話し合って使い方を見直します。
子どもの話を聞き、ほめたり認めたりするだけでも依存症は防げます。親子の会話を大切にしましょう。

困った時の相談先

各都道府県の少年相談窓口 

インターネット 人権相談受付窓口 

インターネット ホットラインセンター 

参考文献 「子どもが危ない！スマホ社会の落とし穴」 清川輝基、内海裕美 少年写真新聞社